

大和重工株式会社の取り組み事例

会社情報

社名 大和重工株式会社
事業所 本社工場
(広島市安佐北区可部一丁目21番23号)
事業内容 鉄鋼業
産業廃棄物発生量 1,377t (2017年度実績)



フレキシブルコンテンバッグ（フレコンバッグ）利用による梱包材の排出抑制

●梱包資材として繰り返し使用可能なフレコンバッグを使用することにより、ビニール製のストレッチフィルムやPPバンド等の排出抑制につながる。



ストレッチフィルム等で梱包された搬入物。廃棄物が毎回発生する。



フレコンバッグを使用した搬入物。繰り返し使用が可能。

<上記画像2つは梱包手法は異なるものの、同数量が梱包されている。>

ショット玉の有価売却（再生利用）

●大和重工株式会社では製造工程で磨耗したショット玉を、廃棄するのではなく、買取業者へ売却処分している（再生利用）。

参考画像



【ショット玉】
金属の表面に吹きつけたり打ち当てたりして、表面を仕上げる際に使用するもの。
使用前は粒状（直径2mm～2.5mm）。スチール製。



フレコンバッグで保管し、買取業者に引き渡している。
左の写真は、繰り返し使用することで磨耗し、砂状になったショット玉。